

裸足で歩ける砂浜にしたい

6月26日(木)学校前に位置する高戸海水浴場を全校生徒で海岸清掃を行いました。地域おこし協力隊の小倉公彦さんの御指導の下、「裸足であるける砂浜に」「楽しみながら海岸清掃を」をスローガンとして砂浜に漂着したゴミ(特にプラスチック等人工的なゴミを主として)を拾いました。一人一人黙々とゴミを拾い、終了時間の合図に「もう終わり」「まだゴミはあるのに」と嘆きの声がいたる所から聞こえました。最後にゴミを拾った総重量を量った所、36キロのゴミ。きれいになった砂浜をスッキリした表情で眺める生徒達。

今年の夏。「裸足で歩ける砂浜」プロジェクトが、生徒の手によってどのように動くのか、そして、高戸海水浴場がどう変わっていくのか、とても楽しみです。

